

衆議院議員

木原せいじ

国会活動報告書



揺るぎなき挑戦!!

30代の若さで改革

せいじ便り 16号

せいじ便りを駆で配らせていただいていた頂戴した多くのご質問。その幾つかに改めてお答えします。

問1. 政治家としての原点は？

母方の祖母「弘子おばあちゃん」です。祖母は、二人の弟を戦争で失い、ようやく生まれた跡取りの私を大切に育ててくれました。弘子ばあさんの口癖は、「家族を守るため、国の未来のため、世界に平和を取り戻すため、誇りと使命感を胸に散った弟達の思いを継いで、世の中に役立つ人になりなさい」。

多くの尊い犠牲の上にある、日本の平和・繁栄を守り、発展させる、私の原点です。

問2. 得意分野は？

先ず、経済は任せてください。1997年の金融危機時には、金融機関への資本注入の法律や不良債権買取の法律などを立案し、英国大蔵省出向中には英国や欧州の経験を徹底して学んできました。第二に、**行財政改革・公務員改革**。優先的に取り組んできた分野であり、渡辺喜美・元大臣の右腕として公務員制度改革の立案に関与しました。第三に、障害者自立支援法やハンセン病問題などの**社会保障問題**です。

問3. 「小沢一郎さんに政権を渡してはいけない」と常々主張していますが、何故？

第一に、小沢さんは、子供手当て倍増、高速道路無料化、全農家に個別所得補償、高校まで義務教育化など20兆円を超える**バラマキ**を提示してい

ます。本気で実現しようとするれば、**大増税**は避けられず、国民生活は破綻してしまいます。

第二に、インド洋が不安定化すれば、資源輸入国の日本は大きな影響を受けます。その日本が、危険なことは他人任せでは**身勝手な話**です。また、北朝鮮による拉致はテロであるとして、国際社会に協力を求めながら、インド洋でのテロとの戦いには協力しないのは、明らかに矛盾です。

第三に、小沢さんは、自衛隊の海外派遣について国連に委ねるとの立場です。しかし、国連の意思決定は、中国やロシアを含む常任理事国に握られています。我が国の**主権**をこうした国に委ねるわけにはいきません。

第四に、**言論・理念を軽視**する体質です。党代表選挙に手を挙げたい人がいるのに封殺、自ら導入した党首討論も開催に同意しない、本会議も欠席ばかり。そして、ほんの10年程前には、規制緩和、構造改革、小さな政府を標榜しながら、今や政局優先でバラマキの権化になっていることです。

問4. 景気回復への処方箋は？

景気が悪いときは公的支え、良いときは民間に、経済運営の基本です。ところが、日本は、景気が十分良くないときに財政再建に走って失敗してきました。今は、**景気回復を最優先**するべきです。

これまで、規制緩和や企業努力により、供給面で改革の成果があがってきました。しかし、規制緩和でタクシー台数を多くしても、需要が増えなければ意味がないように、需要面の取り組みも不可欠です。

第一に、内需拡大のための**税制改正**。①定額減

税、②子や孫への財産移転を促進するための贈与税廃止、③子育て世代への教育費減税、④企業の設備投資減税、⑤企業が従業員給料引上げを実施した場合の一部減税、などです。財源は特別会計の積立金の活用。掘ったらなくなる**埋蔵金は景気対策にこそ有効**です。

第二に、**将来不安の除去**。特に年金。国民の皆様との協力とマンパワーを総動員した年金記録の集中的点検、受給資格取得期間の短縮、未納期間へのキメ細やかな対応、などを実施していきます。そして、何よりも、**物価スライド復活**です。

そして、景気回復後、安定的な社会保障財源を確立するため、「**薄く広く皆で支え合う**」の考えのもと、3～5年を目標に抜本的税制改正に取り組みます。

問5. 実際のところ、埋蔵金はあるの。

埋蔵金というか、一時的に活用できる資金はあります。例えば、外為特別会計や財投特別会計の積立金。ただし、これらは為替や金利の変動に備えるために積みたてられており、しかも、一度使えば終わりです。民主党が主張する20兆円を超える恒久的措置の財源とはなりません。逆に、一時的な景気対策にこそ有効です。

問6. 特別会計から多くの財源が出せるのでは？

特別会計の規模は180兆円。半分の90兆円は借金返済の資金。次の52兆円は年金・医療・介護として皆様に支払われている支出。更に17兆円は地方交付税交付金などの支出。いずれも、**削減困難な義務的支出**です。そして、残りの20兆円のうち

半分を占める財政融資資金は、既に計画的に支出を減らすことが決められています。

結果的に残りは10兆円ですが、エネルギー対策や食料安定対策など必要な支出も含まれており、大きな財源が出る状況にはありません。

問7. 税金の無駄撲滅には、どのように取り組むのですか？

無駄遣い撲滅チームの事務局長補佐、道路関連法人改革チームの主査として、無駄撲滅に携わってきました。「**やみ専従**」などの犯罪行為には厳格に、マッサージチェア購入など明白な無駄遣いは、直ちに停止します。こうしたキメ細かな取組みに加えて、三大改革を行う必要があります。

第一に、**公益法人改革**。税金からの支出が大半で、それがなければ存続できない法人や、役員の大半が天下りの法人などは、**原則廃止**します。

第二に、財務省改編・予算制度改革。いったん予算がつくと、成果も検証されずに、長年続くものがあります。財務省主計局を予算査定局と予算監査局に分割して、事後チェックを徹底するほか、**複数年度予算**を導入し、2、3

年目に監査を集中的に行うサイクルにあらためます。

第三に、**国会議員定数の大幅削減**、議員世襲について同一選挙区からの立候補制限などに取り組みます。



無駄遣い撲滅プロジェクトチームの公開討議にて、事務局長補佐として会を司会進行する。

木原せいじ事務所

■国会事務所 〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2
衆議員第2議員会館606号室
TEL: 03-3508-7606
FAX: 03-3508-3986

■地元事務所 〒189-0013
東京都東村山市栄町2-22-13
松岡ビル2階
TEL: 042-392-4105
FAX: 042-392-4106



木原せいじ公式 モバイルサイト

<http://kiharaseiji.com/k/>
携帯電話から木原せいじ
モバイルにつながります。

ボランティアを募集しています!

事務所内における事務、ポスター貼り、各種広報物の配布などお手伝いいただけるボランティアを募集しています。どんな事からでもかまいません。



国会見学に行きませんか?!

随時、国会見学を受け付けています。友達や仲間とお誘い合わせの上、是非ご来館ください。少人数からでもお気軽にご相談いただければ結構です。



木原せいじ プロフィール

- ・私立武蔵中学・高校、東京大学法学部卒業
- ・大学時代はテニスで全国選抜3位
- ・平成5年大蔵省(現財務省)入省、主計局、大臣官房、国際局課長補佐、税務署長歴任
- ・その間、英国大蔵省出向(初代)
- ・平成17年9月 衆議院選挙当選
- ・現在、厚生労働委員会、内閣委員会、拉致特別委員会、各委員。党では、国際局次長、青年局次長、女性局次長、学生部参与。
- ・趣味はテニス・ピアノ・散歩。座右の銘「至誠通天」。
- ・著書「英国大蔵省から見た日本」(文春新書)

